

5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている

① 観光資源の発掘と保存・活用

現状と課題

- 市内には、文化財や自然などの観光資源が多くあることから、それらを磨き、つなぎ、売り込むことが必要となっています。また、様々なイベントへの市民参加のあり方や開催方法を検討する必要があります。
- 高岡らしい「食」のブランド化や土産品の開発、ものづくりの文化を活かした産業観光を活かした施策に取り組む動きが広がっています。
- 市民と関係団体とが一体となった“おもてなし”の体制づくりが求められています。

施策の展開

文化資産等を活かした観光振興

- 市内に点在している様々な歴史・文化資産や豊かに広がる自然景観など、多様な素材を再評価し、観光資源として活用します。
- モデルルートの作成や旅行商品開発、体験・滞在型プログラムの充実に努めるとともに、来訪者や観光客にわかりやすい案内看板等の整備・充実を図ります。
- 高岡御車山会館を核として、高岡大仏から山町筋、金屋町へとつなぐ“歩いて楽しめる”観光を推進します。
- 高岡を代表する祭りやイベントを支援し、活性化を図るなど、高岡の魅力を高めます。
- 万葉まつりや万葉歴史館の活用を図るとともに全国に「万葉のふるさと高岡」をPRし、万葉のふるさとづくりを推進します。
- 観光施設周辺において、観光インフラの整備や飲食店、土産物店などへの開業を支援し、観光地としての魅力を高めます。

歴史・文化資産の保存と活用

- 国宝瑞龍寺、山町筋、金屋町、高岡古城公園などの貴重な歴史・文化資産の保存と観光資源としての機能充実に努めるとともに、日本遺産のストーリーを活かした回遊する仕組みづくりに取り組みます。

自然景観の保全・活用

○観光地としても親しまれている雨晴海岸や二上山、西山丘陵、庄川、小矢部川などの良好な自然景観の保全・活用に努めます。

高岡ブランドの開発

- 商工会議所、商工会、民間事業者との連携を図りながら、高岡の伝統産業やアルミ産業、農産物加工や食品産業を活かした高岡ブランドの開発を推進します。
- 高岡らしさを感じることできる「食」のブランド化や土産品の開発を支援します。

産業観光の推進

○伝統産業や近代産業の製造現場の見学やものづくり体験等を観光素材として活用するため、地元受け入れ企業とのマッチング、体験プログラムの充実等を推進します。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
高岡市の観光客入込数	380 万人/年	450 万人/年
着地型旅行商品の参加者数	2,067 人/年 (H26)	3,900 人/年

主な事業	
文化資産等を活かした観光振興	・平成の御車山の制作、活用 ・地域発着型観光・体験メニューの商品化 ・観光地における開業の支援 ・祭礼行事、イベント等の開催に対する支援
高岡ブランドの開発	・高岡ならではの食のブランド開発への支援

5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている

② 広域観光の推進

現状と課題

- 高速交通網の整備に伴い、観光の広域化が進展しています。このため、各地域との連携のもと、観光資源をつなぐことで、広域での魅力を高め、滞在時間の延長を図る必要があります。
- 現在、飛越能経済観光都市懇談会や富山県西部地区観光協議会など広域連携組織を設置し、共同で事業を展開しています。
- 「飛越能の玄関口」としての役割を果たすため、近隣地域との連携を強化し、圏域が一体となった観光振興を主導することが求められています。
- 観光趣向の多様化に対応し、本市の特徴を活かした観光テーマの設定と売り込み、きめ細やかな観光サービスの提供が求められています。

施策の展開

広域観光の推進

- 飛越能圏域の各地域との連携により、圏域内の観光地を巡る広域的な二次交通の利便性向上やモデルルート売り込み、旅行商品開発などに取り組み、観光客を呼び込みます。
- 観光資源を活用した体験・滞在型プログラムの開発を支援して、高岡の魅力を高めます。
- SNS^{※1}などを活用し、効果的な観光情報を発信します。

観光情報施設の充実

- 「飛越能の玄関口」としての役割を果たすため新高岡駅観光交流センターの機能充実に努めるとともに、道の駅などの観光情報施設の効率的な運営に努めます。

※1
Social Networking Service の頭文字をとったもので、Facebook や Twitter など、インターネット上の交流を促進するための様々なサービスのこと。

交流・観光

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
旅行プログラムの販売人数	—	1,000 人/年

主な事業	
広域観光の推進	・ 広域観光団体等の取り組みに対する支援
観光情報施設の充実	・ (仮称)道の駅雨晴の整備

5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている

③ イメージアップ・誘致活動の強化

現状と課題

- 観光客をはじめとする来訪者に心地よく滞在してもらうには、行政はもとより、市民一人ひとりが高岡の歴史・文化・自然などその良さを知り、もてなしの心を持って、来訪者を迎えることが求められています。
- 受け入れ体制づくりにあわせ、様々なメディアや情報化社会に対応した情報発信に努め、誘客促進を図る必要があります。
- 新高岡駅は飛越能の玄関口として、飛騨・能登地域をはじめ、県外に認知してもらう必要があります。

施策の展開

もてなしの心の醸成

- 観光関連事業者を対象とし、接客マナーの向上に資する研修会を開催します。
また、観光ボランティアの育成に努めるとともに、企業や市民への啓発などを通じ、まち全体として観光客をもてなす体制を整えます。
- 国内外からの観光客にわかりやすい誘導・案内、二次交通の充実に努めます。

多様な手段による情報発信

- パンフレット等でのPRに加え、県外への出向宣伝や雑誌掲載、ホームページ・SNS等を利用した多様な手段による情報発信により、「日本遺産のまち高岡」を形成する豊富な歴史や文化的資産、ものづくりの伝統や体験メニュー、自然景観を全国に発信し、イメージアップを図ります。
- 観光協会との連携を強化し、様々な手法で観光客の誘致活動を推進します。

まちづくり指標		
指標名	基準値	目標値(H33)
観光ボランティアの利用者数	25,055人 (H25-H27 平均)	30,000人
高岡関連PR記事の掲載件数	85件/年 (H25-H27 平均)	90件/年

主な事業	
もてなしの心の醸成	・観光ボランティアガイドの養成 ・観光情報施設の運営を担える人材の育成 ・高岡フィルムコミッション事業の展開
多様な手段による情報発信	・観光客誘致のための県内外でのPR活動の推進 ・地場産品、アニメキャラ等を活用した高岡の魅力の発信

5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている

④ 国内・国外交流の推進

現状と課題

- 高岡市は開町以来、金沢市と歴史・文化・産業等の様々な面で関わりをもっており、行政・産業・市民レベルでの交流が深まっています。
- 万葉のまちとして全国の万葉故地との交流が続けられているほか、様々な分野における全国規模の交流が展開されています。
- 高岡市では、姉妹・友好都市などと国際親善交流を深めているほか、日ロ沿岸都市との交流会議に参加するなど環日本海交流に努めています。
- 市民レベルの交流活動も様々な分野で活発に行われており、市内のいくつかの高校では、姉妹校との相互交流や短期ホームステイ研修、環日本海交流も見据えた語学プログラムの拡充、修学旅行、スポーツなどを通じた交流活動が実施されています。

施策の展開

都市間交流の推進・交流人口の拡大

- 金沢市等との交流を一層促進するとともに、万葉、おくのほそ道の故地や、東海北陸自動車道でつながった中京圏の都市、新幹線沿線都市など、高岡市と歴史・文化・産業で関わりのある新たな都市との交流を促進します。
- コンベンション^{※1}をはじめとするMICE^{※2}の開催支援を通じて、各種団体や学会の全国大会・ブロック大会、スポーツ大会の誘致に努め、交流人口の拡大を図ります。

多様な交流活動の促進

- 環日本海地域の諸国をはじめ、姉妹・友好都市などとの親善交流や市民の海外派遣の推進、積極的な受入れの実施とともに、交流都市などと文化、教育、スポーツ等の幅広い分野での交流活動を促進します。

※1

他の地域からのモノ、ヒト、情報の交流をもたらす学会、大会、会議、修学旅行、合宿及びスポーツ大会など。

※2

Meeting: 会議・セミナー、Incentive: 招待・視察、Convention: コンベンション、Exhibition: 展示会の頭文字をとったもので、他の地域からのモノ・人・情報の交流をもたらす各種行事。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
コンベンション誘致件数	17 件/年	20 件/年

主な事業	
都市間交流の推進・交流人口の拡大	・「銀座の金沢」企画事業 ・札幌スタイル連携事業 ・コンベンションの誘致
多様な交流活動の促進	・姉妹都市、友好都市との交流の推進 ・中学生の海外派遣事業

5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている

⑤ インバウンドの推進

現状と課題

- 日本を訪れる旅行者が年々増加しており、本市においても北陸新幹線の開業を契機に外国人観光客が増加傾向にあります。
- 高岡市及び周辺地域の文化資産や豊かな自然等を活かして、外国人観光客の誘致に努める必要があります。
- 外国人観光客を受け入れる態勢はまだ不十分であり、もてなし環境の改善が求められています。

施策の展開

外国人観光客誘致の推進

- 県や近隣自治体、観光協会等と連携しながら、台湾を中心とする外国人観光客の誘致を図ります。
- 外国語パンフレットの製作や観光ガイドの養成、公共 Wi-Fi の整備など、受入環境の充実に努めるとともに、市民意識の向上に資する啓発活動に取り組みます。

まちづくり指標

指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
外国人宿泊者数	8,642 人/年	9,000 人/年

主な事業

外国人観光客誘致の推進	・外国人観光客の誘致活動の推進 ・民間企業と連携したプロモーション活動
-------------	--

6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている

① 商業・サービス業の振興

現状と課題

- 卸売業を取り巻く環境は、小売業における年間商品販売額の減少や流通構造の変化などに伴い、厳しいものとなっています。
- 小売業を取り巻く環境は、先行き不透明な景気動向への不安感や、情報通信分野の進展に伴う消費構造の変化などにより、商店街における転廃業が増加するなど、厳しいものとなっています。
- 県西部における大型商業施設の出店により、中心商店街等への影響が懸念されています。
- 平成 26 年 10 月から外国人旅行者向けの消費税免税対象品目が全品目になったことから、免税店を拡大し地域経済の活性化につなげる必要があります。

施策の展開

卸売業の強化

- 問屋センター等の卸売業団体が実施する卸売業の体質強化に向けた活動等を支援し、地域に根ざした卸売業の活性化を図ります。また、流通業務機能の向上に努めます。
- 地方卸売市場の施設の整備を進め、流通構造の変化への対応を図ります。

地域と商店街との連携促進

- 地域コミュニティと商店街との連携を促進し、交流の場としての商店街づくりに努めるとともに、商店街が取り組む空き店舗対策を支援し、商店街の活性化を図ります。
- 商工会議所・商工会の経営指導・相談事業や創業人材育成事業、地域商店街活性化事業、情報通信を活用した販路開拓事業等を支援し、地元事業者等の経営安定と商店街の振興を図ります。また、商工団体等のにぎわいと魅力あふれるまちづくりへの取り組みを支援します。

創業活動の促進

○商店街の空き店舗を活用した、物販、飲食・サービス業やオフィスの新規開業支援の充実を図り、新分野進出・新規創業による創業活動の活性化を促進します。

商店街等への商業集積

○消費者のニーズに対応した商業施設の整備を支援します。

小売店等の免税店化の促進

○免税店の開設を促進するため、必要な環境整備や外国人旅行者向けの周知等を支援します。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
中心商店街・観光地周辺における新規開業店舗数	H28 開始	50 件※

※目標値は、H29～H33 の累計

主な事業	
地域と商店街との連携促進	・高岡商工会議所、高岡市商工会等に対する支援 ・地域商店街の活性化事業等への支援
創業活動の促進	・商店街団体が取り組む空き店舗対策事業に対する支援 ・中心市街地における開業等に対する支援

6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている

② 中心市街地活性化の推進

現状と課題

- 中心市街地は、商業、公共・業務施設、高岡駅を中心とする公共交通機関等が集積し、様々な都市機能を担っている「高岡の顔」というべき地域です。しかし、モータリゼーションの進展と消費者意識の変化とともに、郊外における大規模な商業立地と住宅供給等が進んだことなどにより、中心市街地への来街目的が薄れて賑わいが失われつつあります。
- 中心市街地に豊富にある歴史・文化資産を保存・活用し、市民や観光客が中心市街地を訪れるための取り組みが必要となっています。
- まちなかの居住人口増加のため、共同住宅の整備促進をはじめ都市機能の充実が必要となっています。
- 市内外から買い物客が訪れ、魅力と賑わいのある商店街づくりのため、空き店舗の解消や既存店舗への支援等に取り組む必要があります。

施策の展開

歴史・文化資産の保存と活用（再掲）

- 国宝瑞龍寺、山町筋、金屋町、高岡古城公園などの貴重な歴史・文化資産の保存と観光資源としての機能充実を図るとともに、日本遺産のストーリーを活かした回遊する仕組みづくりに取り組みます。

まちなか居住の推進

- 少子高齢社会に対応するため、既存の社会資本ストック※¹を利活用しながら都市福祉施設※²の整備や公共交通の利便性の向上を図るなど、商業以外の要素も含めて市街地の再生に努め、まちなか居住を推進します。

商店街の活性化の促進

- 空き店舗の家賃、改装・改修費に対する補助など、空き店舗が魅力ある店舗に生まれ変わる活動を支援します。

※1
道路、港湾、下水道、公園、通信、郵便、空港、ダムなど国民経済全体の基礎としてその円滑な運営を実現するため、毎年の公共投資によって形成されてきた集積、量。

※2
教育文化施設、医療施設、社会福祉施設その他の都市の居住者等の共同の福祉又は利便のための必要な施設。

- 地域商店街やまちづくり機関などとの連携・協力により、定期的なイベントの開催や地域商店街の魅力を高める具体的方策について研究し、実施することで、市民が集う交流の場として高岡らしい商店街づくりを促進します。
- まちのにぎわいの創出に向けて活動している若手や女性事業者などに対する支援を行います。

中心市街地の核となる施設に対する支援

- 高岡駅前核施設であるステーションビルや駅前地下街の更なる機能向上を図るための支援を行い、高岡駅前東地区の整備と一体となった高岡駅前にぎわい創出を図ります。
- 中心市街地の核となる施設の整備・管理・運営に対し支援を行い、中心市街地の回遊性の向上やまちの顔づくりを推進します。

まちづくり活動への総合的な支援

- まちづくり会社や高岡市中心市街地活性化協議会^{※3}等による商店街の活性化、空き店舗・町家の再生、利活用といったまちづくり活動を支援します。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
中心商店街・観光地における歩行者通行量（1日あたり）	16,670 人/日	17,670 人/日

主な事業	
商店街の活性化の促進	・ 中心市街地の賑わい創出活動に対する支援
まちづくり活動への総合的な支援	・ 未活用物件のリノベーションなどのまちづくり事業を実施するまちづくり会社等への資金の借入支援

※3

「中心市街地活性化法」で定められた中心市街地の活性化に関する事業の推進及び市町村が作成する基本計画などについての協議を行うため、民間事業者、団体等が主体となって構成された機関。

6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている

③ 市街地の整備

現状と課題

- 高岡駅北側の市街地は、モータリゼーションの進展や郊外における大規模な商業立地等により、賑わいが失われつつあります。今後、既存の都市機能を最大限に活かしていく必要があります。
- 周辺市街地においては、土地区画整理事業などにより、公共施設の整備改善や宅地の利用増進など、良好な居住環境の形成を図っています。

施策の展開

中心市街地の整備

- 高岡駅周辺地区がにぎわいの核となり、さらに拠点性を高めるために高岡駅前東地区の整備推進に取り組み、南北市街地の連携や交通結節機能の強化をはじめ、まちなか居住の推進や商業、文化、情報等の高次都市機能の集約を図り、歩いて楽しいまちづくりに努めます。
- 中心市街地において、民間の再開発手法を用いた老朽建物の共同建て替えを支援することにより、地域の活性化と拠点性の向上を図ります。
- 中心市街地において、高岡らしい風情やたたずまいに配慮しながら、居住環境と安全性の確保の両立を目指した「安心して住み続けられるまちづくり」に取り組みます。
- 景観や環境に配慮した幹線道路や公共建築物等の整備により、魅力的な都市空間の創出を図ります。

周辺市街地の生活基盤整備

- 歴史や自然などの各地域の特色を活かしたまちづくりに向けて、充実した生活圏の形成とそれぞれの地区にふさわしいサービス機能を配置するため、まちづくり事業や土地区画整理事業を進めます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
市街地整備区域内の居住人口	—	168 人

主な事業	
中心市街地の整備	・ 末広西地区における共同化事業に対する支援 ・ 高岡駅前東地区整備の推進 ・ まちなか再構築の推進
周辺市街地の生活基盤整備	・ 組合施行土地区画整理事業（志貴野）に対する支援 ・ 福岡駅前土地区画整理事業の推進

6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている

④ 住宅・宅地の整備

現状と課題

- 近年、住宅を取得するため市街地周辺や他市への転出が増加しています。このため市街地中心部では、人口の減少が著しく、空き家や空き地が増え、地域の活力低下を招いています。
- まちなかの活性化と定住促進を図るため、居住ニーズに応じた誰もが安心して住み続けられる良質な住宅の供給促進、市街地中心部での未利用地の利用促進に努める必要があります。
- 住宅困窮者のためのセーフティーネット※¹の確保を目的としている市営住宅については、計画的な整備や長寿命化のための住戸改善が必要になっています。また、福祉施策と連携し、高齢者や障がい者、子育て世帯に配慮した住環境の整備が求められています。

施策の展開

定住化のための住宅支援の推進

- まちなか居住の促進を図るため、民間の優良な賃貸住宅の供給促進やまちなかでの住宅取得やリフォームなどへの支援制度を充実します。また、住宅に関する各種制度や空き家などの住宅情報の提供に努めます。
- 良好な住宅団地の形成及び定住促進のため、土地購入者への支援などを行います。
- バリアフリー住宅等の建設を促進するため、高齢者住宅改善資金の助成などを行うとともに、民間が行うサービス付き高齢者向け住宅などの整備を支援します。

宅地の供給促進

- 民間活力による宅地供給や都市的土地利用を促進するため、市街化区域内の地籍調査を推進するとともに、一定のまとまりのある低・未利用地において道路整備を図ることなどにより市街地の土地流動化に努めます。また、周辺

※1
元々はサーカスの綱渡りや空中ブランコの時に張られる安全ネットのこと。転じて福祉、防犯、防災、雇用など幅広い分野において、人々の生活を守るための仕組みをいう。

市街地での土地区画整理事業を推進し、公共交通利便性の高い住宅地の開発を支援します。

空き家対策の推進

- 空き家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、空き家等対策を効果的かつ効率的に推進するため、「空き家等対策計画」を策定し、空き家等対策を総合的かつ計画的に実施します。
- 空き家等の既存ストックを利活用し、定住人口の増加に向けて取り組む市民活動を支援します。

良質な市営住宅の供給

- 高岡市住宅マスタープランに基づき、市営住宅の計画的な整備を進めるとともに、高岡市公営住宅長寿命化計画に基づき、計画的な住戸改善を進めます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
まちなか居住推進総合対策事業に伴う定住人数	60 人/年 (H25-H27 平均)	60 人/年
老朽危険空き家除却支援件数	5 件/年	8 件/年

主な事業	
定住化のための住宅支援の推進	・新婚に伴う住宅の新築及び増改築等の借入資金の利子助成 ・指定住宅団地の土地取得支援 ・まちなかにおける住宅取得、耐震リフォーム、エコ・バリアフリーリフォーム、共同住宅・地域優良賃貸住宅の建設に対する支援
宅地の供給促進	・市街化区域内、低・未利用地の利用を促す道路の整備 ・地籍調査の推進
空き家対策の推進	・空き家等を利活用し定住に向け取り組む市民活動への支援 ・老朽危険空き家除却支援
良質な市営住宅の供給	・市営住宅の改修・解体・建替

6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている

⑤ 良好な都市景観の創出

現状と課題

- 高岡市には固有の歴史や伝統、文化、風土などの優れた地域特性があり、それらを活かした景観づくりに取り組むため、平成 21 年 3 月に景観計画を策定し、併せて景観条例を改正しました。
- 現在、景観形成重点地区として 2 地区指定し、景観誘導を図っています。
- 県西部の中心都市として、また観光交流拠点としても優れた地域特性を活かし、魅力ある都市空間を形成していく必要があります。
- 景観形成に影響力のある屋外広告物は、富山県屋外広告物条例に基づき規制・誘導を図ることとしています。

施策の展開

美しい都市景観の形成と景観計画の推進

- 恵まれた美しい自然や風土、歴史と文化、魅力ある市街地や特徴ある産業の場、交流の拠点がつくる高岡らしい景観を保全・活用し、美しい都市景観の形成を目指します。
- 積極的に景観誘導を行う地域を景観形成重点地区に指定し、地域の特性を活かした景観まちづくりを推進します。
- 景観まちづくりに市民が積極的に参加できるよう、景観形成市民団体の育成・支援を行います。

景観計画の充実・強化

- 建築物等の色彩基準を明確化するなど、計画内容の充実・強化に取り組みます。

屋外広告物の適正化

- 市民・事業者の協力により、地域特性や周辺景観と調和した屋外広告物となるよう規制・誘導を推進します。

○条例に違反して設置されている屋外広告物については、広告主等に対する指導等必要な措置を講じ、良好な景観の形成を図ります。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
違反屋外広告物等の是正件数	4 件/年	10 件/年

主な事業	
景観計画の充実・強化	・ 景観形成重点地区等における建物修景等の助成、景観形成市民団体に対する支援（再掲）
屋外広告物の適正化	・ 広告主等への指導・助言

7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている

① 高岡駅・新高岡駅の周辺整備

現状と課題

- 高岡駅前東地区においては、複合ビルの建設や民間業務施設の移転等、開発機運が高まっています。
- 新高岡駅は高速交通網の整備に伴い、飛越能の玄関口としての役割を担い、広域的な地域の発展に大きな波及効果があると期待されています。
- 新幹線開業に伴う特急利用者の新幹線利用への移行や少子化等による利用者数の減少から、あいの風とやま鉄道と城端・氷見線の連携等や新幹線との接続等、県西部地域の交通結節点としての更なる機能強化が求められています。
- 新高岡駅が高岡駅と約 1.5km 離れていることから、一体的かつ連携したまちづくりを進めていく必要があります。

施策の展開

高岡駅を核とした周辺整備

- 高岡駅周辺地区が賑わいの核となり、さらに拠点性を高めるために、中心市街地等の周辺エリアの都市機能との連携を考慮しつつ、高岡駅前東地区の整備を推進します。

新高岡駅を核とした周辺整備

- 新高岡駅を中心とした交流拠点づくりを推進します。
- 北陸新幹線の大阪開業までに、民間と連携して駐車場をはじめ必要な周辺施設の整備・確保を行います。

新高岡駅周辺から中心市街地までの一体化

- 新高岡駅周辺から中心市街地が都心エリアとして一体的に賑わいが創出されるよう、アクセス機能の強化を図るとともに、まちなかを回遊する仕組みづくりを行います。

新幹線の利用促進

- 新幹線開業による課題整理や現状分析を行い、魅力あるまちづくりや受け入れ態勢の充実、情報発信の強化に継続して取り組みます。
- 関係団体と連携し、「かがやき」定期便の新高岡駅停車を目指して、積極的に利用促進を展開しながら、新高岡駅利用者の総ボリュームの増大に取り組みます。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
公共交通の利用者数（JR 西日本、あいの風とやま鉄道、万葉線、路線バス、コミュニティバス）	25, 319 人/日	25, 430 人/日

主な事業	
高岡駅を核とした周辺整備	・ 高岡駅前東自転車駐輪場の整備
新高岡駅を核とした周辺整備	・ 下黒田 13 号線ほかの整備 ・ (都)下伏間江福田線（京田踏切）の整備
新幹線の利用促進	・ 世界遺産バスなどの 2 次交通への支援

7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている

② 高速道路網・幹線道路網・地域公共交通体系の整備

現状と課題

- 能越自動車道は、県内区間について全線開通しましたが、管理者が複数で一部有料区間となっています。東海北陸自動車道は全線開通しましたが、白鳥インターチェンジから小矢部砺波ジャンクション間は暫定2車線での供用となっています。
- 高岡市の幹線道路網は環状放射を基本パターンとして整備を進めてきており、今後はこれに加え、北陸新幹線など高速交通網へのアクセス向上や、近隣都市へのアクセス強化など、広域的な道路網の整備を進める必要があります。
- 北陸新幹線開業に伴い、首都圏との交通利便性が飛躍的に向上する中、交通結節点としての重要な役割を求められており、将来にわたって県西部地域の発展を支えていくために、各都市との結びつきを強化する必要があります。
- 今後、都市機能の集約を図り、公共交通を基盤とする市民生活への転換を推進し、将来にわたる公共交通の維持向上を図る必要があります。

施策の展開

能越自動車道の整備促進

- 事業化区間の早期完成と全線の早期事業化及び国による維持・管理の一元化など利用者の利便性向上対策の実施を関係機関に働きかけます。
- 能越自動車道インターチェンジアクセス道路の整備促進と福岡パーキングエリアを利用したインターチェンジの設置を目指します。

東海北陸自動車道の整備促進

- 全線4車線化の早期完成を関係機関に働きかけます。

道路網の整備促進

- 高岡市と近隣都市を結ぶ広域的な道路、高速自動車道インターチェンジから主要施設へのアクセス道路、環状放射道路等の整備を促進します。

公共交通機関の機能充実

- 大都市圏・飛越能地域それぞれとの交通軸の強化や、広域交通拠点としての環境充実を図り、都市の成長を高める広域交通体系を構築します。
- 都心交通軸や周辺地域との連携軸を強化する公共交通の整備並びに、交通不便地域等の改善を図り、市内を円滑に移動できる交通体系を構築します。
- 地域の実情に応じた交通ネットワークの形成に向け、地域を支える骨格路線であるあいの風とやま鉄道高岡ー西高岡駅間における新駅並びに周辺整備を推進します。
- 沿線住民の生活を支える万葉線の利用者サービス向上のため、全国相互利用可能な交通系ＩＣカードの導入を支援し、公共交通間の乗り継ぎ利便性の向上に取り組みます。
- 交通施設等や情報提供手法の改善をはじめ、公共交通等を活用した賑わいの創出を図り、安全・安心で利用しやすい公共交通サービスを提供します。
- マイレール、マイバス意識の醸成、モビリティ・マネジメントの実施により、公共交通を利活用するライフスタイルの転換を進めます。
- 中心市街地への気軽な足であるコミュニティバスや、福岡地域における公営バスとともに、地域住民が自ら運行に携わり、行政がこれを支援する地域バスなどを活用し、地域公共交通の確保に努めます。

まちづくり指標		
指標名	基準値(H27)	目標値(H33)
公共交通人口カバー率	79.9%	82.2%
都市計画道路整備率	77.1%	80.1%

主な事業	
能越自動車道の整備促進	・新たなインターチェンジ設置のための調査検討
道路網の整備促進	・幹線道路の整備
公共交通機関の機能充実	・あいの風とやま鉄道の新駅設置支援及び周辺整備の推進 ・万葉線の運行支援（交通系ＩＣカード導入） ・コミュニティバスの運行 ・地域バス等の運行支援 ・城端線増便及び城端・氷見線の車両更新、交通系ＩＣカード導入、直通化に関する研究・調査

7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている

③ 港湾の整備・活用

現状と課題

- クルーズ船やＲＯＲＯ船※¹の寄港など、伏木港を利用する人や物の出入りが活発になっています。
- 伏木外港の利用を促進するため、船舶の大型化・多様化に対応した更なる港湾機能の強化が必要となっています。
- 伏木港がクルーズ寄港地に選定されるよう、背後地観光等の利便性を高めるとともに、おもてなし事業を充実させ、魅力の向上を図る必要があります。

施策の展開

伏木外港の建設促進

○伏木富山港の日本海側拠点港「総合的拠点港」の選定を受けて、伏木外港の建設促進と港湾機能の充実により、ＲＯＲＯ船に代表される海陸一貫輸送など物流ネットワークの多様化に対応した、環日本海交流の拠点と世界に拓かれた国際貿易港としての機能強化を国・県に働きかけます。

ポートセールス※²の強化

○クルーズ船や定期貨客船、ＲＯＲＯ船等の入港を促進し、人と物の交流の活性化を進めるため、県や商工団体等と連携した船舶会社や荷主企業を対象とするポートセールスを強化します。

ウォーターフロント整備促進

○魅力あるウォーターフロント（快適で親しまれる港湾空間）や、国際化に対応した港湾背後地の整備を促進します。

クルーズ船受入態勢の充実

○クルーズ船社や乗船客に伏木港が良い印象となるよう、関係機関と連携し、利便性の向上や歓迎イベントなど、おもてなし事業の更なる充実を図ります。

※1

トレーラーなどの車両を収納する車両甲板を持ち、自走で搭載、揚陸できる構造の貨物船。

※2

港湾振興関係者が、その施設やサービスの充実を図り、港湾利用の開拓や拡大を目指して展開する活動。

まちづくり指標		
指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
船舶の寄港数（クルーズ船・RORO船）	7 隻/年	13 隻/年

主な事業	
伏木外港の建設促進	・ 伏木外港建設促進団体等への支援
ポートセールスの強化	・ 関係機関等と連携したポートセールス活動の推進
クルーズ船受入態勢の充実	・ クルーズ船の受入環境の整備、クルーズ船寄港地観光バス等への支援

7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている

④ 広域連携の推進

現状と課題

- 県西部6市では、全国的に人口減少・少子高齢化が進行する中、一定の圏域人口と活力ある社会経済を維持・向上させるため、「連携中枢都市圏」の取り組みを推進しています。
- 高岡市、氷見市、小矢部市では高岡地区広域圏事務組合を設置し、ごみ処理の適正処理（共同処理）や広域観光の推進、郷土愛を育む各種体験・交流等、広域的な事業を実施しています。
- 近隣自治体と防災、し尿処理、道路整備など様々な事業連携に努めています。
- 北陸新幹線開業にあわせた高速交通網が形成され、県西部地域の中核的都市として、地域全体を活性化させる役割が期待されています。

施策の展開

広域行政・交流の推進

- 連携中枢都市圏としての拠点形成を活かした新たな取り組みやこれまで重層的に進めてきた各種連携プログラムの充実・強化を推進します。
- 県西部6市がそれぞれ持つ個性や特性を活かし、圏域の発展に向けて連携を深め、圏域の経済成長や市民サービスの向上につなげる取り組みを積極的に推進します。
- 圏域の核としての都市機能の充実を図るとともに、広域圏計画事業を着実に推進します。

まちづくり指標

指標名	基準値 (H27)	目標値 (H33)
とやま呉西圏域都市圏ビジョン掲載連携事業の実施数	H28 開始	30 事業

主な事業

広域行政・交流の推進	・ 連携中枢都市圏における連携事業の推進 ・ 高岡地区広域圏事務組合の活動の推進
------------	---